

校内研だより

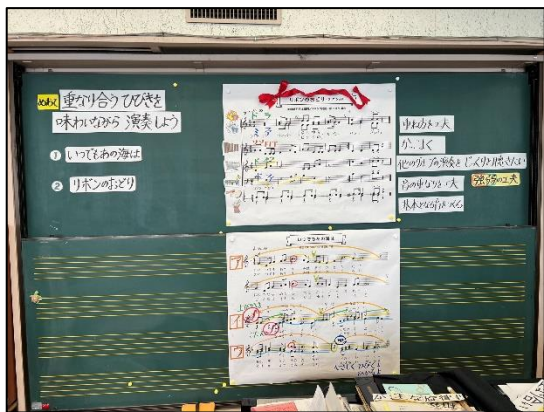


令和6年7月17日(火)
研究推進部
No.10

1 研究授業③を終えて

(1) 本時

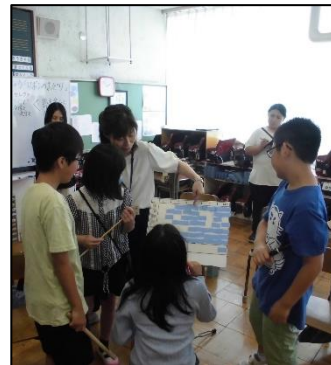
○合唱する→めあての確認



既習曲「いつでもあの海は」を歌って、授業がスタート。歌を歌うことで、音楽の授業への気持ちを高めまします。子供たちはこの場面から、音の重なりを考えて歌っていたのでしょうか。素敵な歌声が響き渡ります。その後は前時を振り返り、子供たちの発言からキーワードを掲示します。どの教科もそうですが、子供たちは初めから上手に表現することはできません。教科ごとに学習内容を表現しやすい言葉があり、その言葉を習得することで、豊かな話し合い、文章に繋がります。

○グループごとに、合奏を試す。

グループごとに分かれて、合奏を試します。音楽室に2グループずつ、第二音楽室に2グループずつに分かれて演奏します。音楽や体育などの活動がメインとなる教科は、場の設定も大切です。子供たちは十分なスペースを使って楽器の組み合わせを試していました。また、指導案検討で話題に上がっていた、付箋を用いた表で楽器の組み合わせを視覚化して、活発な話し合いをしていました。スクールタクトも用意されていましたが、付箋を使うグループが多かったです。デジタルとアナログの使い分けについても、考えさせられる場面です。

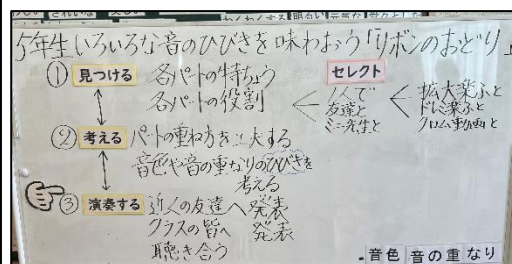


約30分間、じっくり子供たちは音の重なりを考えて、楽器の組み合わせを試しました。高木先生の教師の出はどうだったでしょうか。高木先生に、子供たちは「タイミングが合わない。」と相談する様子が多かったように思います。高木先生は、問い掛けたり、子供から考えを引き出したりする役割を果たしていました。協議会でもありましたが、めあてである「音の重なり」についてはどうだったか、今後の授業改善のポイントになりそうです。



○振り返り

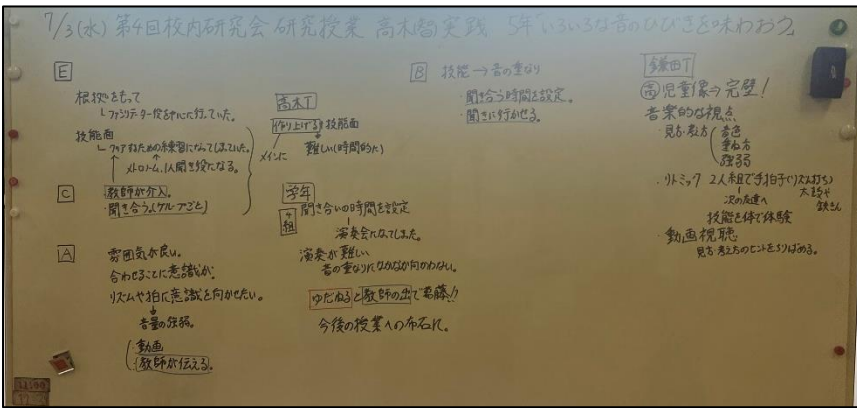
授業の最後は振り返り。発表した子供は、どの子供も「音の重なり」を意識した振り返りでした。他のグループの演奏を自分たちに生かそうとする振り返りもあり、ねらいに沿って協働的に学ぶ子供の姿を見ることができました。振り返りの語彙の豊かさは、さすが一小的子供たちでしたね。



○研究協議会



いまだかつてない楽しい協議会になりました。市教研音楽部の皆さんと共に、子供たち同様にアクティブな協議会でしたね。一小的先生方は、研究主題に迫る意見、音楽部の先生方からは、専門的な視点からお話いただきました。リズム遊びの実技指導もあり、とても盛り上がりました！



○講師の瀧島先生から

- ☆互いに認め合える学級経営を！
- ☆学び合える場づくりを！
- ☆基礎的な知識・技能を押さえるのが教師の出！



子供の主体性を価値付けていただきました！

リコーダー指導は教えるのではなく、楽しみながら学べるような工夫を！

○授業者から

先日の校内研究ではたくさんのご指導をいただき、ありがとうございました。音楽の授業をつくっていく中で、分科会の先生方を始め、多くの先生方にご指導、ご意見をいただけたことを心から感謝しています。

社会科・生活科の学習を中心とした学びの土台や素晴らしい学級経営の上で、音楽科の授業をさせていただきました。音楽の要素である「音色」、「音の重なり」、「強弱」に子供の言葉で気付き、子供たちが主体的に活動し、試行錯誤しながら音楽をつくり上げることができたと感じています。

研究授業後の第5時では、グループで重ね方を工夫した点を伝えてから発表しました。発表後は、友達の演奏のよさに気付き、お互いを尊重し、認め合った、たくさんの意見交流ができました。

1音のテレビの前で練習していたグループの演奏後には、「楽器が代わる代わる聴こえてきて、物語のようにおもしろく聴こえた。」と、重なりに着目した気付きを発表していました。

また、他のグループの演奏を聴き、ヒントをもらったグループの演奏では、「重ね方を少し変えて、どの回でも目立つ楽器を作り、笑顔で演奏していた。」と、友達の演奏の変化に気付いていました。

小太鼓のリズムを合わせようと工夫していたグループの演奏を聴くと、「グループで拍が分かるようにリズムをとったので、見事にうんたんのリズムが合うようになった。」と、技能面での向上に気付いた感想もありました。また、「次の合奏では新しい工夫を皆でまた考えて演奏したい。」という振り返りも見られ、嬉しく思いました。

校内研究を通して、「こんな音楽の授業を子供と一緒に作りたい!!」というイメージをもつことができました。今後ともご指導のほど、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

高木 智美

2 夏休み以降の予定

7月25日(木) 研究全体会「1学期リフレクション」

8月29日(木) 指導案検討(2年)

<9月以降の研究授業>

9月26日(木)	研究授業④(2年 国語科)
	授業者: 今西 基行先生「 」
	講師: 西川 さやか先生(東村山市立久米川東小学校 校長)
10月29日(火)	研究授業⑤(梅の実 生活単元)
	授業者: 川戸 宣子先生「 」
	講師: 石橋 昌雄先生 (元全国小学校社会科研究協議会会長、前立正大学社会福祉学部 子ども教育福祉学科教授)
12月 4日(水)	研究授業⑥(1年 学級活動)
	授業者: 柳瀬 裕未先生「 」
	講師: 星野 哲朗先生(小金井市立南中学校 副校長)
1月29日(水)	研究授業⑦(4年 図工科)
	授業者: 浮島 栞先生「ふわふわ空気 つんで つなげて」
	講師: 雨宮 玄先生(あきる野市立南秋留小学校 指導教諭)

3 第2回研究全体会

(1) 日時 7月25日(木) 13:30~14:30

(2) 会場 MR

(3) 持ち物 授業検討に必要な物 クロームブック ※なければ子供のものを出す。

(4) 当日の進行

13:30 校長先生より(2分)

・挨拶: 校長 ・進行: 松本 ・板書: 鈴木雄

13:32 アイスブレイク(5分)

13:37 対話①「1学期を振り返って」

コラボノート

13:52 対話②「研究副主題はどうします?」

コラボノート

14:07 各学年授業検討・振り返り

14:23 リフレクション

フォーム

14:28 副校長先生から

4 研究部より

☆ あっという間の1学期でしたね。昨年度までの社会科を中心とする研究の学びを生かして、他教科等に研究を広げました。社会科と共通することあれば、そうでない部分もあり、指導案検討や授業に難しさを感じる方もいたのではないのでしょうか。そのような中でも、昨年度と変わらないのは先生方の授業研究に対する姿勢、熱意でした。先生方は、指導案検討から授業づくり、研究協議まで、どの場面でも、より良い授業にするためにはどうしたらよいか、共に考え、積極的に関わっていただきました。1学期の研究は、先生方に支えられて、無事に進めることができました。ありがとうございます。

いよいよ夏休みです。1学期の疲れを癒しつつ、2学期に向けて少しでも研鑽できたらと思います。先生方も様々な研修に参加したり、本を読んだりして、自己研鑽に励まれると思います。エネルギーと学びの得られる充実した夏休みをお過ごしください。2学期も、校内研究をよろしく願いいたします。